様式第二号の八（第八条の四の五関係）

（第１面）

産業廃棄物処理計画書

令和　８年　６月 30 日

茨城県知事　大井川　和彦　殿

提出者
住　　所　千葉県千葉市美浜区中瀬 2-6-1
WBG マリヴウエスト 16F
氏　　名　フジフーズ株式会社
代表取締役　社長執行役員
稲垣　宏樹
（法人にあっては、名称及び代表者の氏名）
電話番号　043-297-8300

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第 12 条第９項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	フジフーズ株式会社　茨城工場
事業場の所在地	〒300-3572 茨城県結城郡八千代町菅谷 898-179
計画期間	令和８年４月１日～令和９年３月 31 日

当該事業場において現に行っている事業に関する事項

①事業の種類	大分類：製造業　中分類：食料品製造業
②事業の規模	2025 年度売上　133 億円
③従業員数	540 名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	別紙のとおり

（日本工業規格Ａ列４番）

茨城県
令-8.6.30
県西県民センター
受付

<table>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項</td></tr>
<tr><td colspan="4">（管理体制図）
別紙のとおり</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の排出の抑制に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>排　　出　　量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の分別に関する事項</td></tr>
<tr><td>①現状</td><td colspan="3">（分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</td></tr>
<tr><td>②計画</td><td colspan="3">（今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら再生利用を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="5">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量した
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="5">②　計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら熱回収を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>自ら中間処理により減量する
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td colspan="4">自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="4">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行った
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
<tr><td rowspan="4">②　計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>自ら埋立処分又は
海洋投入処分を行う
産業廃棄物の量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="4">産業廃棄物の処理の委託に関する事項</td></tr>
<tr><td rowspan="7">①　現状</td><td colspan="3">【前年度（令和６年度）実績】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の
熱回収を行う業者への
処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（これまでに実施した取組）</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td rowspan="8"></td><td rowspan="8">② 計画</td><td colspan="3">【目標】別紙のとおり</td></tr>
<tr><td>産業廃棄物の種類</td><td></td><td></td></tr>
<tr><td>全処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>優良認定処理業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>再生利用業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td>認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量</td><td>t</td><td>t</td></tr>
<tr><td colspan="3">（今後実施する予定の取組）</td></tr>
<tr><td colspan="2">※事務処理欄</td><td colspan="3"></td></tr>
</table>

備考

1　前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。

2　当該年度の6月30日までに提出すること。

3　「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。

(1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。

(2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。

(3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。

4　「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。

5　「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。

6　それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「―」を記入すること。

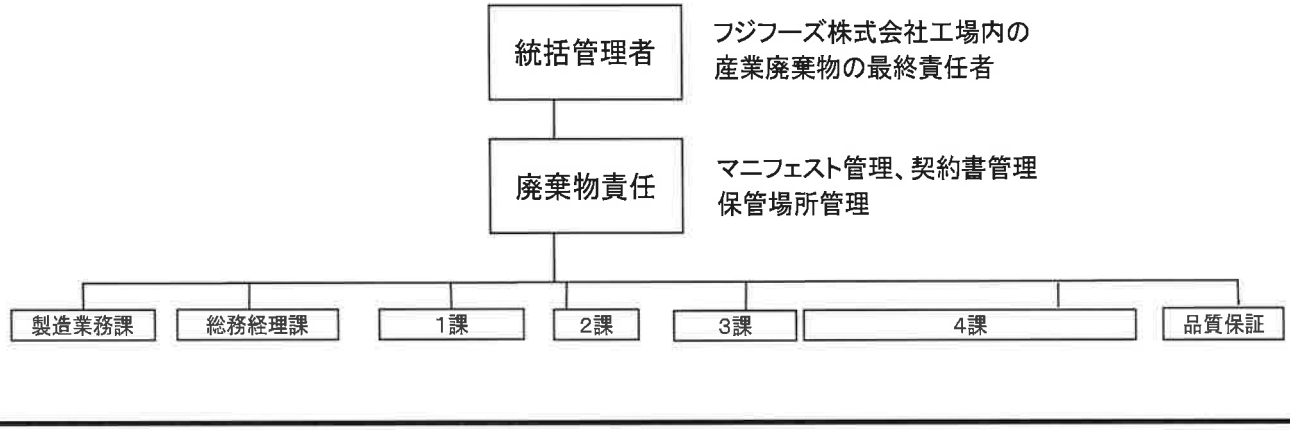
7　※欄は記入しないこと。

別紙1

④産業廃棄物の一連の処理の工程



（管理体制図）


統括管理者
フジフーズ株式会社工場内の
産業廃棄物の最終責任者
廃棄物責任
マニフェスト管理、契約書管理
保管場所管理
製造業務課
総務経理課
1課
2課
3課
4課
品質保証

別紙2

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

【前年度（令和 7年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
排出量	773.40 t	751.81 t	404.27 t	1.40 t	6.61 t	0.13 t	5.43 t	0.00 t

（これまでに実施した取組）
廃プラスチック類：分別の強化。不用品の削減。
汚泥：排水業者の定期的な点検及び部品交換。現場での節水及び酵素装置の活用。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
排出量	696.06 t	676.63 t	363.84 t	1.26 t	5.95 t	0.12 t	4.89 t	0.00 t

（今後実施する予定の取組）
上記事項を継続して取り組んでいく。
従業員及び管理業者との連携を強化し新しい設備やムダの排除に取り組んでいく。
廃棄物発生量の10%削減
動植物性残さ：自社でリキッド飼料化に移行させる予定。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

【前年度（令和 7年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	563.06 t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

(これまでに実施した取組)
・飼料材料に出来る残渣の分別

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	506.75 t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

(今後実施する予定の取組)
・飼料原料、再生油脂類の分別の徹底

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

【前年度（令和 7年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

（今後実施する予定の取組）

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

①現状

【前年度（令和 7年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

（これまでに実施した取組）

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t

（今後実施する予定の取組）

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

【前年度（令和 7年度）実績】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
全処理委託量	210.68 t	666.53 t	404.27 t	1.40 t	6.61 t	0.13 t	5.43 t	0.0 t
優良認定処理業者への処理委託量	210.68 t	— t	252.46 t	1.40 t	6.61 t	— t	5.43 t	0.0 t
再生利用業者への処理委託量	210.68 t	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	151.81 t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

（これまでに実施した取組）
廃プラスチック類：分別の強化。不用品の削減。
汚泥：排水業者の定期的な点検及び部品交換。現場での節水及び酵素装置の活用。

②計画

【目標】

産業廃棄物の種類	動植物性残さ	汚泥	廃プラスチック類	管理型混合廃棄物	廃酸	廃電池	金属くず	
全処理委託量	189.61 t	599.88 t	363.84 t	1.26 t	5.95 t	0.12 t	4.89 t	0.00 t
優良認定処理業者への処理委託量	189.61 t	— t	227.21 t	1.26 t	5.95 t	— t	4.89 t	0.00 t
再生利用業者への処理委託量	189.61	— t	— t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者への処理委託量	— t	— t	136.63 t	— t	— t	— t	— t	— t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量								

(今後実施する予定の取組)
上記事項を継続して取り組んでいく。
従業員及び管理業者との連携を強化し新しい設備やムダの排除に取り組んでいく。
廃棄物発生量の10%削減
動植物性残さ:自社でリキッド飼料化に移行させる予定。